

日本財団 2021年度助成金（通常募集） 社会福祉、教育、文化などの事業に関する説明会

説明会資料

開催日時

- ・ 2020年 10月14日（水） 13：00～14：00 [在宅ホスピス・在宅看取りの推進](#)
& [医療依存度の高い子どもと家族を地域で支える取り組み](#)（1回目）
- ・ 2020年 10月15日（木） 10：00～11：00 [障害者の就労支援、障害者の芸術活動](#)（1回目）
- ・ 2020年 10月15日（木） 18：00～19：00 [在宅ホスピス・在宅看取りの推進](#)
& [医療依存度の高い子どもと家族を地域で支える取り組み](#)（2回目）
- ・ 2020年 10月19日（月） 10：00～11：00 [虐待予防・親子支援](#)
- ・ 2020年 10月19日（月） 11：00～12：00 [社会的養護](#)
- ・ 2020年 10月20日（火） 10：00～11：00 [聴覚障害](#)（1回目）
- ・ 2020年 10月20日（火） 15：00～16：00 [在宅ホスピス・在宅看取りの推進](#)
& [医療依存度の高い子どもと家族を地域で支える取り組み](#)（3回目）
- ・ 2020年 10月21日（水） 10：00～11：00 [聴覚障害](#)（2回目）
- ・ 2020年 10月22日（木） 10：00～11：00 [障害者の就労支援、障害者の芸術活動](#)（2回目）

本日のアジェンダ

- ・ 説明会参加にあたってのお願いと注意点
- ・ 助成活動と説明責任（広報活動と成果の公表）
- ・ 2021年度助成金申請ガイド（通常募集）
- ・ 2021年度 支援の柱「社会福祉、教育、文化などの事業」
- ・ 審査の視点
- ・ 採択実績の少ない事業について
 - 事業の目的（目指す状態）や事業内容・計画の側面で見ると
 - 事業費の側面で見ると
- ・ 申請頂く際のフォーム入力項目や補助資料等に関する補足
- ・ 申請手続き・申請受付期間

説明会参加にあたってのお願いと注意点

- ウェビナーを使つての説明会です。チャットでのご質問を受け付けています。
- 説明会資料は日本財団公式サイトで公開します。公開後、説明会申込みフォームに入力いただいたメールアドレスに公開ページのURLをご案内します。
- 録画はご遠慮ください。
- 今回の助成説明会でお伝えする内容は、助成事業の審査時に考慮するポイントです。助成申請時の一助になればと考え、説明会を企画しました。
- 助成金の交付決定は、理事会の決議を得た後、国土交通大臣の認可を受けることをご了承ください。

助成活動と説明責任（広報活動と成果の公表）

助成活動はポर्टレースの売上の一部を財源としています。

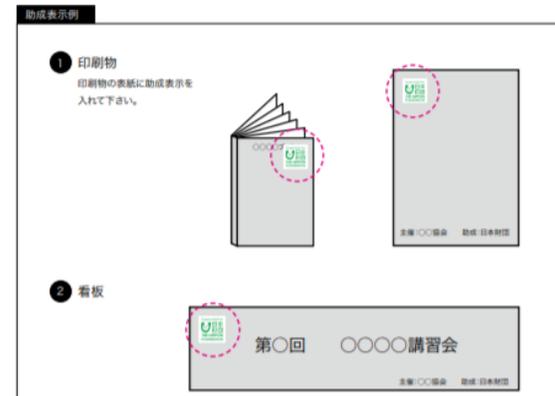
この助成金を活用した事業は、社会をより良くするために行われることが期待されています。

また、成果についても、社会に対して説明責任が伴います。そのため、別途指定するウェブサイトを利用し、積極的な広報活動および助成活動の成果を公表していただく必要があります。

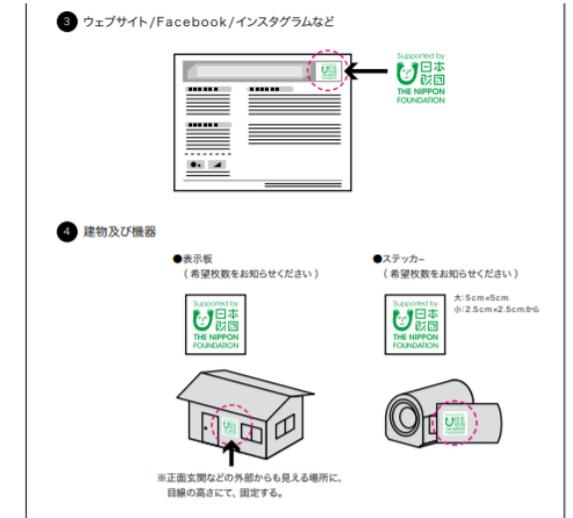
助成表示と広報活動



皆様の行う助成活動は、ポर्टレースの売上の一部を財源としています。この助成金を活用した事業は、社会をより良くするために行われることが期待されます。また、成果についても、社会に対して説明責任が伴います。そのため、別途指定するウェブサイトを利用し、積極的な広報活動および助成活動の成果を公表していただく必要があります。



-10-



-11-

2021年度 支援の柱 「社会福祉、教育、文化などの事業」

国や地方自治体の厳しい財政状況や人口減少、高齢化、少子化など、変革期を迎えた日本はたくさんの課題を抱えており、またこれらの社会課題は刻々と複雑化し、細分化しています。また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、感染症リスクを踏まえた新たな社会システム、構造、制度の構築が求められています。わたしたちはこのような状況に素早く対応しながら、「公」の仕事を「民」の立場から支え、助成先とのパートナーシップを通じて、個性豊かで活力に満ちた、みんながみんなを支える社会を作り出すことを目指し、次のテーマを柱に支援します。

- (1) あなたのまちづくり（つながり、支えあう地域社会）
 - 障害者の地域生活や社会参加を支える仕組みづくり
- (2) みんなのいのち（一人ひとりを大事にする地域社会）
 - ア. 在宅ホスピス・在宅看取りの推進
 - イ. 医療依存度の高い子どもと家族を地域で支える取り組み
- (3) 子ども・若者の未来（人を育み、未来にわたす地域社会）
 - ア. 特別養子縁組や里親など子どもが家庭で暮らすための取り組み
 - イ. 貧困の世代間連鎖を防ぐ施策を実証する取り組み
- (4) 豊かな文化（豊かな文化を培う地域社会）
 - 障害の有無を超えた価値ある芸術作品を、社会に伝え広める取り組み
- (5) with コロナ時代の社会を変える、支える
 - コロナ危機を乗り越えるための社会のあり方を実践する取り組み

2021年度 支援の柱

2. 社会福祉、教育、文化などの事業

国や地方自治体の厳しい財政状況や人口減少、高齢化、少子化など、変革期を迎えた日本はたくさんの課題を抱えており、またこれらの社会課題は刻々と複雑化し、細分化しています。また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、感染症リスクを踏まえた新たな社会システム、構造、制度の構築が求められています。わたしたちはこのような状況に素早く対応しながら、「公」の仕事を「民」の立場から支え、助成先とのパートナーシップを通じて、個性豊かで活力に満ちた、みんながみんなを支える社会を作り出すことを目指し、次のテーマを柱に支援します。

(1) あなたのまちづくり（つながり、支えあう地域社会）

障害者の地域生活や社会参加を支える仕組みづくり

(2) みんなのいのち（一人ひとりを大事にする地域社会）

ア. 在宅ホスピス・在宅看取りの推進

イ. 医療依存度の高い子どもと家族を地域で支える取り組み

(3) 子ども・若者の未来（人を育み、未来にわたす地域社会）

ア. 特別養子縁組や里親など子どもが家庭で暮らすための取り組み

イ. 貧困の世代間連鎖を防ぐ施策を実証する取り組み

(4) 豊かな文化（豊かな文化を培う地域社会）

障害の有無を超えた価値ある芸術作品を、社会に伝え広める取り組み

(5) with コロナ時代の社会を変える、支える

コロナ危機を乗り越えるための社会のあり方を実践する取り組み

2021年度助成金申請ガイド（通常募集）

- ・ 対象となる団体
- ・ 対象となる事業
- ・ 助成金の上限金額・事業費総額に対する助成金の補助率
- ・ 対象となる経費
- ・ 申請手続き・申請受付期間
- ・ 結果の通知
- ・ 審査の視点
- ・ 助成事業の流れおよびご注意いただきたいこと
- ・ 個人情報の取り扱いについて
- ・ 助成事業の申請に関する質問
- ・ リンク一覧

<主な注意点>

- ・ 2020年度募集よりGoogle フォームを使用した申請手続きに変更となりました。
- ・ フォーム入力中に一時保存ができませんので、ご注意ください。
- ・ 質問事項は全64個です。
- ・ CANPANへの団体登録は不要となりました。

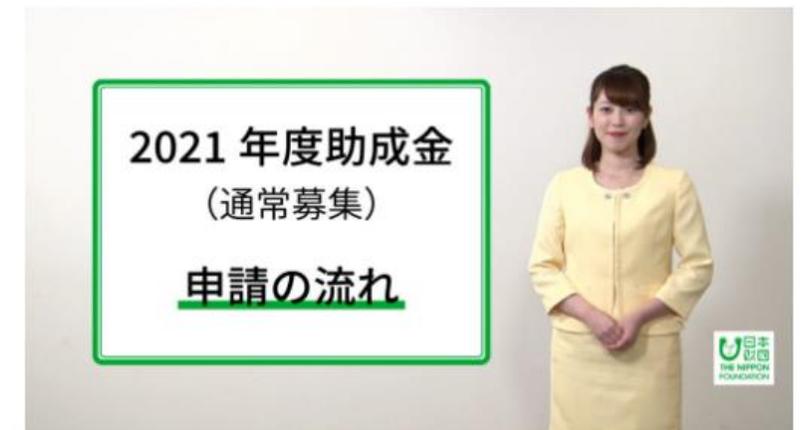
関連リンク：[2021年度 助成金申請ガイド（通常募集）](#)

2021年度 助成金申請ガイド（通常募集）

1. [ご案内](#)
2. [対象となる団体](#)
3. [対象となる事業](#)
4. [助成金の上限金額・事業費総額に対する助成金の補助率](#)
5. [対象となる経費](#)
6. [申請手続き・申請受付期間](#)
7. [結果の通知](#)
8. [審査の視点](#)
9. [助成事業の流れおよびご注意いただきたいこと](#)
10. [個人情報の取り扱いについて](#)
11. [助成事業の申請に関する質問](#)
12. [リンク一覧](#)

<主な注意点>

1. 2020年度募集よりGoogle フォームを使用した申請手続きに変更となりました。
フォーム入力中に一時保存ができませんので、ご注意ください。
質問事項は全64個です。
2. CANPANへの団体登録は不要となりました。



審査の視点

| | |
|--|---|
| <p>(1) 組織（申請団体） 【信頼性】</p> | <p>情報公開を適切に行っているか、または外部機関による組織評価を受けているか</p> |
| <p>(2) 事業の目的（目指す状態） 【社会的インパクト】 【モデルの構築】 【革新性】</p> | <p>取り組む社会課題が明確かつ、成果の波及効果が大きいか</p> <p>先駆的な取り組みか、またはユニークな手法により今後他のモデルとなりえるか</p> <p>旧来のしくみを変えていくか</p> |
| <p>(3) 事業内容・計画 【計画性】 【連携とその効果】 【広報計画】 【成果測定】 【継続・発展性】</p> | <p>事業の目標が目的に沿って明確に設定されているか</p> <p>目標を実現するための事業計画・資金計画が適正かつ合理的であるか</p> <p>多様な関係者を巻き込み、事業の社会的意義を高めるとともに効果的に実施する工夫があるか</p> <p>効果的な情報発信や広報の工夫がされているか</p> <p>計画段階で成果の測定指標を設け、今後の展開や改善に向けた成果測定に積極的に取り組むか</p> <p>助成終了後においても自主財源にて同事業を継続、発展させる具体的計画があるか</p> |

関連リンク：[2021年度 助成金申請ガイド（通常募集） 8. 審査の視点](#)

採択実績の少ない事業について

事業の目的（目指す状態）や事業内容・計画の側面で見ると

- 成果物を配布する（調査報告書配布、DVD配布など）ことで完了する事業
- 研究事業、学会事業組織の環境改善に重点を置く事業
- 事業の受益者が関係者（特定の機関・組織）や自治体などの事業
- これまで他団体の助成金や自己資金で行ってきた事業
- 老朽化や故障に伴う機器整備を目的とする事業、整備後の利用が検討されていない事業

事業費の側面で見ると

- 事業の実施を全て外部組織との契約で行うことを計画している事業

申請準備ワークシート

- ・ **取り組みたい課題**
(現状はどうなっているのか?)
- ・ **原因と解決策**
(どういった論理で、事業内容を考えたかのか?)
- ・ **事業内容**
(助成金を使って行う事業・活動の内容)
- ・ **事業目的**
(単年度の事業の成果を、何の指標で図り、どこまで達成したいのか?)
- ・ **事業目標**
(中長期的、最終的にどのような状態を目指すか?)

申請準備ワークシート 記入例 1

事業名 (Google フォームの入力項目番号 54) (事業内容を端的に表してください)
医療的ケアに対応した地域連携ハブ拠点づくり

※支援の柱が「with コロナ時代の社会を変える。支える」場合には事業名の最初に「コロナ」を入力してください。例)「コロナ」高齢者の孤立を防ぐネットワーク構築

※細枠内：事業内容の検討にあたっての準備のための項目です。本枠内：インターネット申請画面 (Google フォーム) で実際に記入した項目です。本ワークシートは「申請補助資料 (Excel)」のシート 1~2 枚目にあります。(記入は任意です。ご記入・ご提出いただいた場合は審査の参考資料とします)

1 取り組みたい課題 (現状はどうなっているのか?)

日本の周産期・新生児医療体制の進歩によって救える命が増えると同時に、医療的ケアを日常的に必要とする子どもが増えている。現在の日本の医療政策では、急性期が過ぎて症状が安定した患者は在宅療養生活に移るケースが多い。難病児が退院して自宅に戻った場合、人工呼吸器や胃ろうなど、生命の維持には医療器具が欠かせない場合も多く、在宅での医療的ケアは主に家族が担うことになる。難病児とその家族は、治療や介護のために地域で孤立しがちになる。仕事との両立に困難をきたす場合もある。

2 原因と解決策 (どういった論理で、事業内容を考えたか?)

①と②がつながるように心がけてご記入ください

<原因>

- ・地域で難病児の一時預かり等受け入れ先がない。
- ・家族が治療や介護で忙しく、病院以外の地域との接点がない。
- ・難病児についての相談窓口やイベント情報があっても、当事者家族に情報が行き届いていない。

<解決策>

- ・家と病院以外で難病児が日中の時間を過ごすよう、多職種連携を強化する。
- ・難病児とその家族と地域住民との交流の接点を作る。
- ・地域の相談窓口やイベント情報を、情報が必要とする当事者家族に適切な形で届ける。

3 事業内容 (Google フォームの入力項目番号 58) (助成金を使って行う事業・活動の内容) 700 文字以内 (スペース含む)

- 多職種による事例検討会
 - 時期：2021 年 4 月～2022 年 2 月 (計 8 回)
 - 場所：東京都港区
 - 参加者：160 名 (医療従事者、相談支援専門員、教育関係)
 - 内容：事例報告、意見交換
- 地域交流イベントの実施
 - 時期：2021 年 7 月
 - 場所：東京都港区赤坂
 - 参加者：200 名 (医療的ケア児、家族、ボランティア、一般参加者等)
 - 内容：関係団体の活動発表、地域企業との協賛によるワークショップ等
- 家族向け小冊子の作成配布
 - 内容：体験談、相談窓口およびイベント情報
 - 配布先：小児科病棟、交流サロン等
 - 部数：500 部

助成金を使って行う事業・活動の内容を 700 文字以内で記入してください。どこで、いつ、誰を対象に何を行うのかが明確にわかるよう、記入例をご参照のうえ、必要項目すべてについて記入して下さい。具体的な数字も含めて記入して下さい。

番号の振り方等の体裁は、記入例に必ず従ってください。
1、2 などの英数字、英文字は半角で、「.」「～」「|」「()」などの記号は全角でご記入ください。

該当する項目はすべてご記入ください。

5 事業目的 (Google フォームの入力項目番号 56) (中長期的、最終的にどのような状態を目指すか?) 350 文字以内 (スペース含む)

<中長期 ※3 年後>

- ・多職種の連携および事例共有が進むことにより、東京都港区において難病児のいる家庭の半数以上が地域で孤立しない状態となる (家と病院以外に居場所が確保されている)。

<最終目的>

難病の子どもの退院し自宅生活を始める際や、成長に伴いライフステージが変化する際、病気と闘う時を含め、地域の連携先とともに切れ目のない相談体制や生活支援サービスを提供することにより、難病児やその家族が孤立せず安心して暮らせる地域づくりを目的とする。

以下の 2 点について、社会的背景や解決したい課題を踏まえて 350 文字以内で記入してください。

1. 本事業の実施によって団体が実現しようとする事
2. 本事業の実施によって期待される波及効果

4 事業目標 (Google フォームの入力項目番号 57) (単年度の事業の成果を、何の指標で図り、どこまで達成したいか?) 700 文字以内

- 多職種による事例検討会
 - 参加者同士による連携事例数の増加 検討会開始前と比較し 30%増 (参加者ヒアリングにて調査)
- 地域交流イベントの実施
 - 参加者のうち新規参加家族数 10 家族以上
 - 一般参加者 参加者全体の 30%以上
 - 参加者の満足度 80%以上 (参加者アンケートにて調査)
- 家族向け小冊子の作成配布
 - 配布協力先：20 カ所
 - 冊子による相談件数、イベント来場件数 50 件以上

事業目的を将来実現するための事業目標として、以下の 2 点を明確に 700 文字以内で記入してください。

- (1) 1 年後の事業完了時点の到達目標として、何をどういった状態にするのか? 例えば、受益者にもたらされる状態や当初からの変化
- (2) (1) の事業成果を測定する際の根拠 (どのように確認するのか? 数値目標がある場合、どのような方法で成果測定するのか?)

事業目的、事業目標、事業内容の検討にあたっては、助成金申請ガイドの「8. 審査の視点」をご参照ください。ご申請いただいた事業において、審査の視点がおたがえされたらているか総合的に判断し、審査を行います。

関連リンク：[「申請準備ワークシート」の記入例 \(PDF/752KB\)](#) 申請補助資料に含まれる「申請準備ワークシート」の記入例です。
[申請補助資料のダウンロード \(Excel/184KB\)](#) 申請に必要な資料をダウンロードできます。

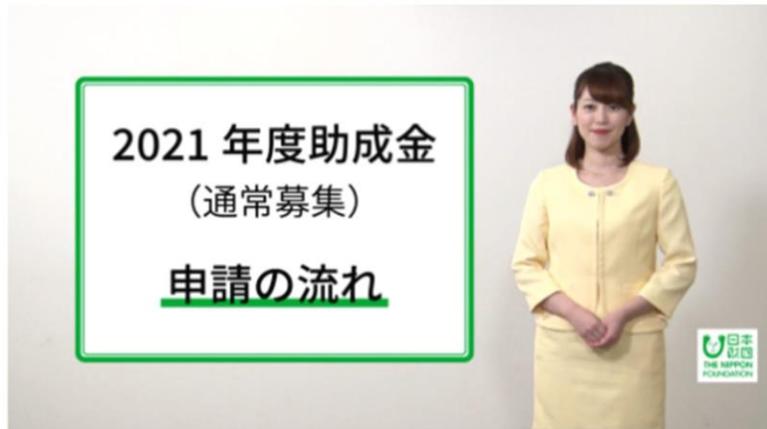
申請頂く際のフォーム入力項目や補助資料等に関する補足

2021年度 助成金申請ガイド(通常募集)

1. [ご案内](#)
2. [対象となる団体](#)
3. [対象となる事業](#)
4. [助成金の上限金額・事業費総額に対する助成金の補助率](#)
5. [対象となる経費](#)
6. [申請手続き・申請受付期間](#)
7. [結果の通知](#)
8. [審査の視点](#)
9. [助成事業の流れおよびご注意いただきたいこと](#)
10. [個人情報の取り扱いについて](#)
11. [助成事業の申請に関する質問](#)
12. [リンク一覧](#)

<主な注意点>

1. 2020年度募集よりGoogle フォームを使用した申請手続きに変更となりました。
フォーム入力中に一時保存ができませんので、ご注意ください。
質問事項は全64個です。
2. CANPANへの団体登録は不要となりました。



URL :

https://www.nippon-foundation.or.jp/grant_application/programs/common

申請の手順に関するもの

[📄 日本財団助成事業の流れ\(PDF/160KB\)](#)

当財団の助成事業の流れについて、段階ごとに記載しています。

[📄 助成金申請 申請手順マニュアル\(PDF/1MB\)](#)

Googleアカウントの取得から、申請完了までの流れを3ステップで示したものです。

[📄 事業目的、事業目標、事業内容の記入例\(PDF/412KB\)](#)

当財団にて作成した記入例です。

[📄 「申請準備ワークシート」の記入例\(PDF/752KB\)](#)

申請補助資料に含まれる「申請準備ワークシート」の記入例です。

[↓ 申請補助資料のダウンロード\(Excel/184KB\)](#)

申請に必要な資料をダウンロードできます。

申請に進む

申請頂く際のフォーム入力項目や補助資料等に関する補足

通常募集の申請の流れ

- ↓ 申請方法
- ↓ 申請の注意点
- ↓ 申請の操作に関するお問い合わせ先

1. 申請方法

日本財団の申請はインターネット上で受け付けます。郵送での申請受付は行っていません。

申請に際しては、必ず「申請手順マニュアル」をご一読ください。
必要な場合はお手元にご用意して、申請操作を行ってください。

[□ 申請手順マニュアル\(PDF/1MB\)](#)

STEP1. Googleアカウントの取得

(既に取得済み、使用中のアカウントがある団体は、新規アカウントの取得は必要ありません)

[☑ 新規アカウント取得はこちら\(随時取得可能\)](#)

STEP2. 申請の準備

Googleフォームへの入力は一次保存ができません。
入力前に下書き資料(申請補助資料内)の作成を推奨いたします。

申請補助資料(Excel)をダウンロードし作成する。
Googleフォームでの申請時に添付を求められますので、必ずダウンロードし作成してください。

URL :

https://www.nippon-foundation.or.jp/grant_application/guide

STEP3. 申請

申請受付期間：2020年10月1日(木)11:00～2020年10月30日(金)17:00まで

- 申請手順マニュアルをご覧になりながら、申請を行ってください。

※10月30日(金)17:00までに申請手続きを終わってください。

※申請締め切り間際はサイトが混みあい、場合によっては申請できないこともありますので、お早めに作業を行ってください。

[☑ インターネット申請はこちら](#)

STEP3-2. 申請完了の確認・申請受付メールの受信

申請完了の直後に、2通のメールが自動で送信されます。

1. 件名：[日本財団]2020年10月度通常募集事業申請受付メール
上記メールでは、以下をご確認いただけます。
 - 申請受付番号・受付日付・団体名・担当者名・事業名・助成金申請額・自己負担額・事業費総額
2. 件名：2021年度通常募集の申請フォーム
上記メールにて申請内容が確認できます。必要に応じてメールをプリントアウトして保管してください。
 - 収集した個人情報は、当財団の個人情報保護規程に基づき、助成事業に関する事務手続き、助成金の募集案内、日本財団に関連するイベント案内、アンケートの実施、ブログマガジンなどの各種お知らせに利用されます。

2021年度通常募集の申請フォーム

このフォームは一時保存ができません。最後までご記入ください。
申請後の訂正操作及び内容の変更はできません。

なお、入力欄内の「改行」「スペース」は1文字にカウントされます。

ファイルをアップロードしてこのフォームを送信すると、Google アカウントに関連付けられた名前と写真が記録されます。t_murakami@ps.nippon-foundation.or.jp でない場合は、[アカウントを切り替えてください](#)

*必須

メールアドレス*

メールアドレス

団体情報

01.法人番号*

法人番号を半角数字13桁で入力してください。法人番号の指定がない団体は ZERO 13桁(0000000000000)を入力してください。尚、法人番号はマイナンバーではありませんのでご注意ください。

回答を入力

02.法人の種類*

申請頂く際のフォーム入力項目や補助資料等に関する補足

2021年度通常募集の申請フォーム

このフォームは一時保存ができません。最後までご記入ください。申請後の訂正操作及び内容の変更はできません。

なお、入力欄内の「改行」「スペース」ファイルをアップロードしてこのフォームに名前と写真が記録されます。t_mura カウントを切り替えてください

***必須**

メールアドレス *

メールアドレス

団体情報

01.法人番号 *

法人番号を半角数字13桁で入力してください。(0000000000000) を入力してください。

回答を入力

02.法人の種類 *

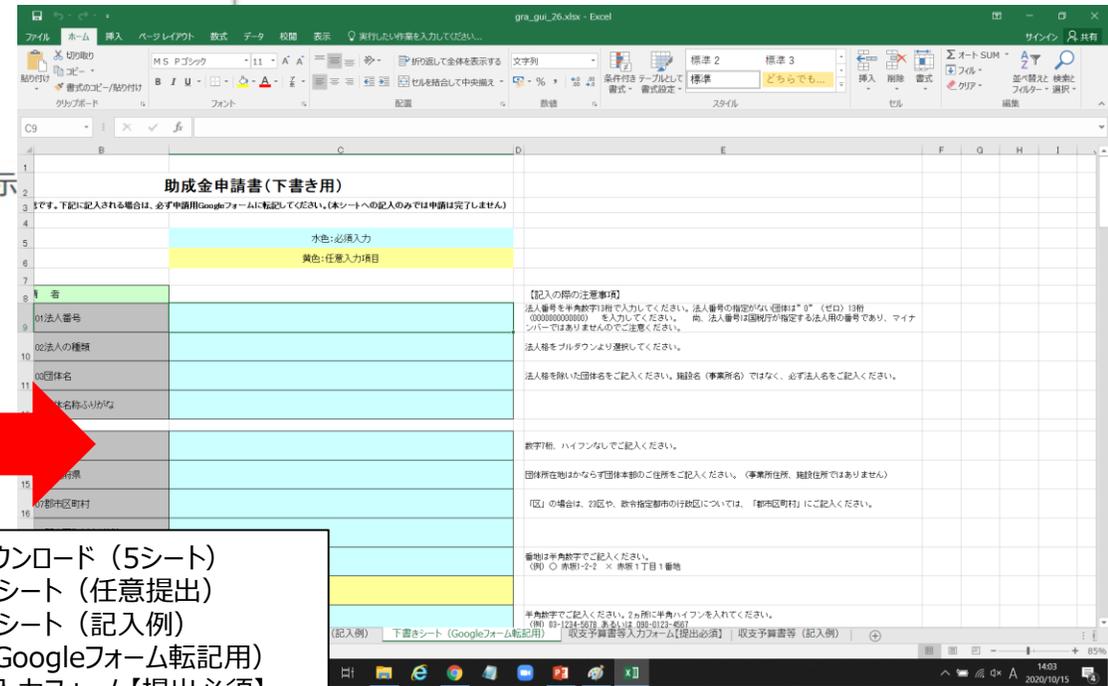
申請の手順に関するもの

- [日本財団助成事業の流れ\(PDF/160KB\)](#)
当財団の助成事業の流れについて、段階ごとに記載しています。
- [助成金申請 申請手順マニュアル\(PDF/1MB\)](#)
Googleアカウントの取得から、申請完了までの流れを3ステップで示しています。
- [事業目的、事業目標、事業内容の記入例\(PDF/412KB\)](#)
当財団にて作成した記入例です。
- [「申請準備ワークシート」の記入例\(PDF/752KB\)](#)
申請補助資料に含まれる「申請準備ワークシート」の記入例です。
- [申請補助資料のダウンロード\(Excel/184KB\)](#)
申請に必要な資料をダウンロードできます。

申請に進む

Googleフォームを使用した申請手続きでは、フォーム入力中に一時保存ができません。入力項目は全部で64個あります。入力前に下書き資料の作成をおすすめします。

- 申請補助資料のダウンロード (5シート)
- ・申請準備ワークシート (任意提出)
 - ・申請準備ワークシート (記入例)
 - ・下書きシート (Googleフォーム転記用)
 - ・収支予算書等入力フォーム【提出必須】
 - ・収支予算書等 (記入例)



助成金申請書(下書き用)

※必ず申請用Googleフォームに転記してください。(※シートへの記入のみでは申請は完了しません)

| | | | |
|----|----------|--|--|
| 1 | | | |
| 2 | | | |
| 3 | | | |
| 4 | | | |
| 5 | | | |
| 6 | | | |
| 7 | | | |
| 8 | 申請者 | | |
| 9 | 01.法人番号 | | 【記入の際の注意事項】 法人番号を半角数字13桁で入力してください。法人番号の指定がない(団体は"0" (ゼロ) 13桁"0000000000000") を入力してください。尚、法人番号は国税庁が指定する法人用の番号であり、マイナンバーではありませんのでご注意ください。 |
| 10 | 02.法人の種類 | | 法人種をプルダウンより選択してください。 |
| 11 | 03.団体名 | | 法人種を除いた団体名をご記入ください。略称(事業所名)ではなく、必ず法人名をご記入ください。 |
| 12 | 04.住所 | | 数字1桁、ハイフンなしでご記入ください。 |
| 13 | 05.支店名 | | 団体所在地は必ず団体本部の住所をご記入ください。(事業所住所、施設住所ではありません) |
| 14 | 06.郵便番号 | | 【区】の場合は、01区や、政令指定都市の行政区については、「郵便区町村」にご記入ください。 |
| 15 | 07.郵便区町村 | | |
| 16 | | | |

申請頂く際のフォーム入力項目や補助資料等に関する補足

| | |
|---------|---------------------------|
| 3. 事業計画 | |
| 54申請事業名 | |
| 55支援の柱 | |
| 56事業目的 | ・具体的に事業の目的を記載ください |
| 57事業目標 | ・具体的に結果目標、数値目標を設定し記載ください |
| 58事業内容 | ・具体的に時期、場所、対象者、内容等を記載ください |

申請準備ワークシート 記入例 1

事業名 (Google フォームの入力項目番号 54) (事業内容を端的に表してください)
 医療的ケアに対応した地域連携/拠点づくり

※支援の柱が「with コロナ時代の社会を変える、支える」場合には事業名の最初に「コロナ」を入力してください。例)「コロナ」高齢者の孤立を防ぐネットワーク構築

※細枠内：事業内容の検討にあたっての準備のための項目です。本枠内：インターネット申請画面 (Google フォーム) で実際に入力いただく項目です。本ワークシートは「申請補助資料 (Excel)」のシート 1~2 枚目にあります。(ご記入は任意です。ご記入・ご提出しなかった場合は審査の参考資料とします)

1 取り組みたい課題 (現状はどうなっているのか?)
 ①と②がつながるように心がけて記入ください

2 原因と解決策 (どういった論理で、事業内容を考えたか?)
 <原因>
 ・地域で難病児の一時預かり等受け入れ先がない。
 ・家族が治療や介護で忙しく、病院以外の地域との接点がない。

3 事業内容 (Google フォームの入力項目番号 58) (助成金を使って行う事業・活動の内容) 700文字以内 (スペース含む)
 1. 多職種による事例検討会
 (1) 時期：2021年4月~2022年2月 (計8回)
 (2) 場所：東京都港区
 (3) 参加者：160名 (医療従事者、相談支援専門員、教育関係)
 (4) 内容：事例報告、意見交換
 2. 地域交流イベントの実施
 3. 家族向け小冊子の作成配布
 (1) 内容：体験談、相談窓口およびイベント情報
 (2) 配布先：小児科病棟、交流サロン等
 (3) 部数：500部

4 事業目標 (Google フォームの入力項目番号 57) (単年度の事業の成果を、何の指標で測り、どこまで達成したいか?) 700文字以内
 1. 多職種による事例検討会
 ・参加者同士による連携事例数の増加 検討会開始前と比較し30%増 (参加者ヒアリングにて調査)
 2. 地域交流イベントの実施
 ・参加者のうち新規参加家族数 10家族以上
 ・一般参加者/参加者全体の30%以上
 ・参加者の満足度 80%以上 (参加者アンケートにて調査)
 3. 家族向け小冊子の作成配布
 ・配布先数 500部以上
 ・イベント来場件数 50件以上

5 事業目的 (Google フォームの入力項目番号 56) (中長期的、最終的にどのような状態を目指すか?) 350文字以内 (スペース含む)
 <中長期 3年後>
 ・多職種の連携および事例共有が進むことにより、東京都港区において難病児のいる家庭の半数以上が地域で孤立しない状態となる (家と病院以外に居場所が確保されている)

以下2点について、社会的背景や解決したい課題を消去して350文字以内で記入してください。
 1. 本事業の実施によって団体が実現しようとする事
 2. 本事業の実施によって期待される波及効果

事業目的を将来実現するための事業目標として、以下の2点を明確に700文字以内で記入してください。
 (1) 1年後の事業完了時点の到達目標として、何をどう状態にするのか? 例えば、受益者にもたらされる状態や当初からの変化
 (2) (1)の事業成果を測定する際の根拠 (どのように確認するのか? 数値目標がある場合、どのような方法で成果測定するのか?)

事業目的、事業目標、事業内容の検討にあたっては、助成金申請ガイドの「8. 審査の視点」をご参照ください。ご申請いただいた事業において、審査の視点がどれだけ満たされているかを総合的に判断し、審査を行います。

助成金を使って行う事業・活動の内容を700文字以内で記入してください。どこで、いつ、誰を対象に何をを行うかが明確にわかるよう、記入例を参照のうえ、必要項目すべてについて記入して下さい。具体的な数字も含めて記入して下さい。

事業内容の書き方の体裁は、記入例に必ず従ってください。漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、英文字は半角で、「」~「」:「」()」などの記号は全角で書いてください。

記入する項目はすべてご記入ください。

在宅ホスピス・在宅看取りの推進

日本財団 在宅ホスピスプログラムと背景

VISION

誰にでも訪れる終末期のQOL（生活の質）を向上し、最期まで自分らしく生きることを支える

1996年－

日本財団 ホスピスプログラム

- ①周知啓発
- ②人材育成
- ③施設整備

2013年－

日本財団 在宅ホスピスプログラム

「ホームホスピス」「訪問看護」を中心に支援

「ホスピス」という考え方の普及・理解促進

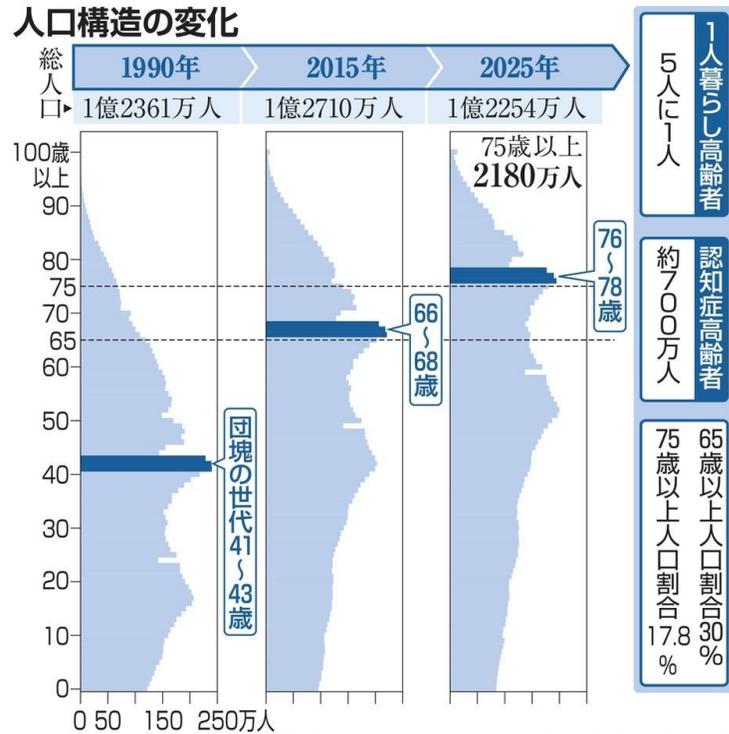
- ・ホスピスへの理解を深める市民セミナーの開催（全国30ヶ所）
- ・ホスピス、緩和ケアナース・ドクターの養成
- ・日本初の独立型ホスピスや緩和ケア病棟の整備

地域におけるホスピスケアの実践

- ・地域の在宅ホスピス人材養成
- ・ホームホスピスなどの拠点整備
- ・ナース／ドクターネットワーク支援

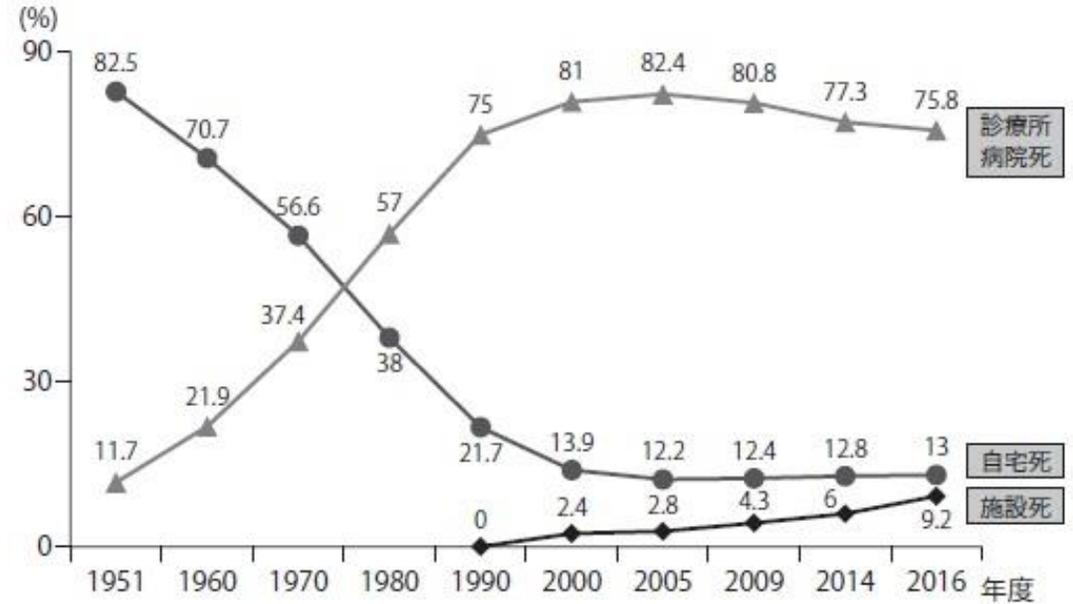


日本財団 在宅ホスピスプログラムと背景



※国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」と総務省「人口推計」を基に作製

(図1) 出典: 「2025年問題」とは何か 千葉響子2018.11.5 より



(図2) 出典: 厚生労働省「人口動態統計」(2016年)を基に作成

日本では8割が病院死「自宅で最期を迎えたい」が叶わないワケ 嶋田 一郎2019.8.15より

◆ 2025年/2040年問題

- 2025年には後期高齢者人口が約2,200万人 (図1)
- 団塊世代の看取り需要の急増
- 高齢者の年間死亡者140万人→160万人へ
- 2040年には65歳以上の高齢者の人口が最大に

◆ 在宅看取りへの対応遅れ

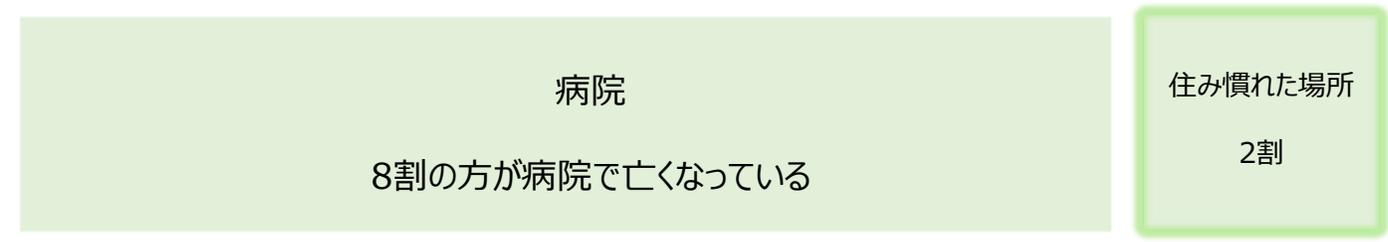
- 「最期を迎える場所」については、約70%の人が「自宅」を希望 (平成29年度 人生の最終段階における医療に関する意識調査より)
- 一方、2016年には未だ約8割が病院死 (図2)

日本財団 在宅ホスピスプログラムと背景

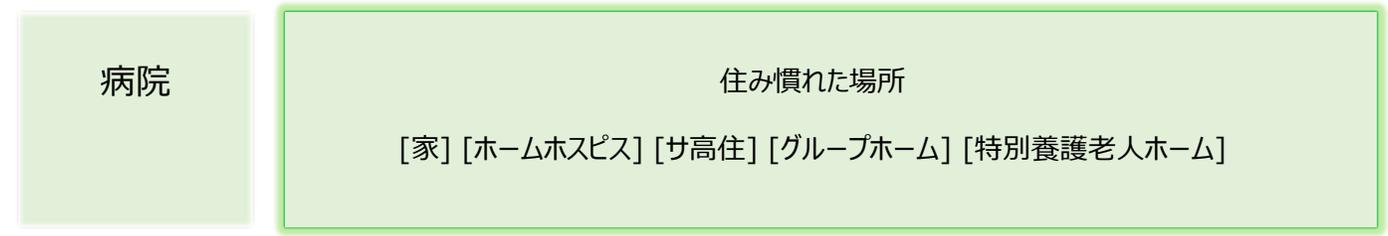
目指す社会の状態

**病院死 8 割、在宅死 2 割を逆転させ、
多くの方が、「住みなれた場所・地域」で心豊かな終末を迎える社会を目指す。**

■ 現在



■ 目指す社会



日本財団 在宅ホスピスプログラムと背景

VISION

誰にでも訪れる終末期のQOL（生活の質）を向上し、最期まで自分らしく生きることを支える

2020年-

日本財団 在宅ホスピスプログラム

在宅ホスピス・在宅看取りの推進

多くの方が、「住みなれた場所・地域」で心豊かな終末を迎える社会を目指す



必要なのは・・・

- ✓ 人生最期の「瞬間」だけでなく、その「前」も「後」も支える**システム**
- ✓ 医療看護・介護専門職の在宅看取り**スキルの向上と連携**
- ✓ 「死」を忌み嫌うのではなく「生」の延長として捉える**マインドの醸成**

課題感と主な想定事業について

- **＜地域で暮らし続けるための地域連携体制＞**
 - **人生最期の「瞬間」だけでなく、その「前」と「後」も支えることができる地域ネットワークの構築**
 - 地域における研修会、通年プログラムの開発実践と検証、その他関連する事業
 - 例えば、地域包括支援センターや社会福祉協議会など地域団体と連携した取組み
 - 例えば、医療介護以外のプレーヤー、民生委員、消防団、火葬場、成年後見人などと連携した取組み
 - 例えば、お手本となる地域の取組みを、自分たちの地域でも取り入れるなども可
- **＜在宅看取りのための専門職の連携＞**
 - **医療看護・介護専門職の在宅看取りスキルの向上と連携**
 - 地域における研修会、お試しプログラムの実施、その他関連する事業
 - 例えば、訪問看護・介護事業者・在宅療養支援診療所とサ高住・ホームホスピス等と連携した取組み
- **＜日常生活（生）と「死」への意識＞**
 - **「死」を忌み嫌うのではなく「生」の延長として捉えるマインドの醸成**
 - セミナー、その他関連する事業
 - 例えば、ゲーム、音楽、食、スポーツ、テクノロジーなどを活用した従来とは違うアプローチでの周知啓発
 - 例えば、年代、性別、国籍など、多様な視点を取り入れたアプローチでの周知啓発

在宅という言葉について

- 「在宅」ってそもそも？ 自宅のこと？

→本人が住み慣れた場所、居場所のこと。

その人が、「そこにいていいんだ！」と自然と思える場所のこと。

必ずしも自宅であるとは限らず、施設もその人にとって「居場所」と思えるのであれば「在宅」として捉えています。

医療依存度の高い子どもと家族を 地域で支える取り組み

難病の子どもと家族を支えるプログラム



難病の子どもと家族を
支えるプログラム

[ホーム](#) [取り組みについて](#) [助成・支援プログラム](#) [拠点ネットワーク](#) [動画](#) [活動レポート](#) [お役立ちリンク集](#) [寄付について](#)

[お問い合わせ](#)

難病の子どもと家族が孤立しない、みんながみんなを支える地域づくりを目指して

難病の子どもと家族を支えるプログラム



25万人以上と言われる難病の子ども

・小児慢性特定疾病医療費助成受給者は 約14万人

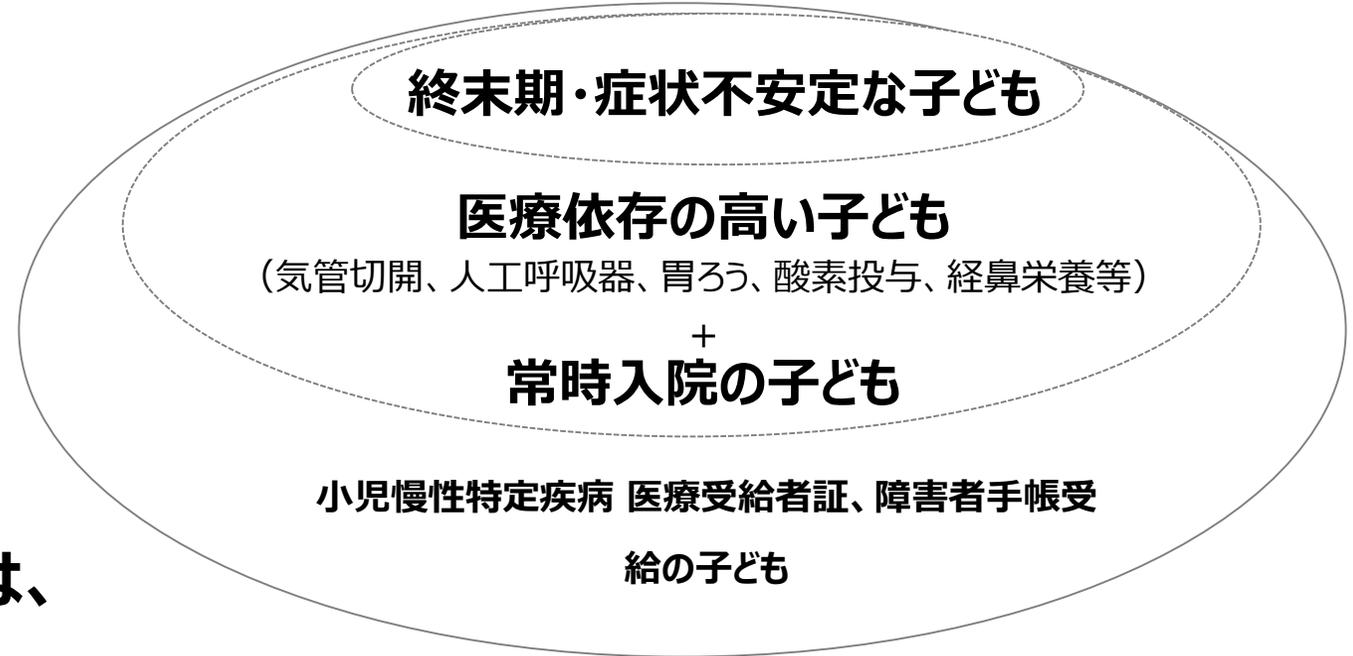
(※試算：厚生科学審議会疾病対策部会指定難病検討委員会資料より)

- ・対象は、762疾病（令和元年7月5日）

・医療的ケア児数（在宅療養指導管理料の算定件数の合計値）は、

17,209人（H27年度：0-19歳） → **1.8万人**

- ・ ※平成26年度以降は小児の在宅人工呼吸指導 管理料とその他の管理料との間に重複（ダブルカウント）がありうることに留意する必要がある。
- ・ ※毎年5月の診療報酬算定件数を集計したものであり、5月のデータを代表値とすることの妥当性を検証する必要がある。



- ・ **生命の危険がある、または治療を要する入院中の子どもは、2.3万人**
(H26年：0-14歳)

課題感と主な想定事業について

＜課題感：数の不足や退所後体調不良の声／改善余地あり＞

- ・ 事業内容：医療型短期入所（特定含む）における、療育を充実させるための取り組み
 - ・ ハード（改修）事業
 - ・ ハード（機器整備）事業
 - ・ ソフト事業

＜課題感：早期介入の重要性／リハビリ人材不足＞

- ・ 事業内容：①難病の子ども向けのリハビリ強化の取り組み、②子どもと家族に対する食事支援の取り組み
 - ・ ハード（改修）事業
 - ・ ハード（機器整備）事業
 - ・ ソフト事業

＜課題感：難病の子どもと家族の孤立化の解消＞

- ・ 事業内容：①母子分離に関する取り組み、②成人移行に関する取り組み、③子どもの職業選択の幅を広げる取り組み
 - ・ ソフト事業

＜課題感：教育現場における医療的ケア児支援の浸透不足＞

- ・ 事業内容：教育関係者向けの研修事業
 - ・ ソフト事業

＜課題感：難病の子どもと家族の社会的孤立の解消／社会的交流の醸成＞

- ・ 事業内容：①難病児の家族に関する取り組み、②難病児のきょうだい児に関する取り組み、③理解促進を目指す取り組み
 - ・ ソフト事業

課題感と主な想定事業について

＜課題感：数の不足や退所後体調不良の声／改善余地あり＞

- ・ 事業内容：医療型短期入所（特定含む）における、療育を充実させるための取り組み
 - ・ ハード（改修）事業
 - ・ ハード（機器整備）事業
 - ・ ソフト事業



課題感と主な想定事業について

<課題感：早期介入の重要性／リハビリ人材不足>

- ・ 事業内容：①難病の子ども向けのリハビリ強化の取組み、②子どもと家族に対する食事支援の取組み
 - ・ ハード（改修）事業
 - ・ ハード（機器整備）事業
 - ・ ソフト事業



課題感と主な想定事業について

＜課題感：難病の子どもと家族の孤立化の解消＞

- ・ 事業内容：①母子分離に関する取組み、②成人移行に関する取組み、③子どもの職業選択の幅を広げる取組み
- ・ ソフト事業



〈課題感：教育現場における医療的ケア児支援の浸透不足〉

- ・ 事業内容：教育関係者向けの研修事業
 - ・ ソフト事業



「医療依存度の高い子どもと家族を地域で支える取り組み」 課題感と主な想定事業について

＜課題感：難病の子どもと家族の社会的孤立の解消／社会的交流の醸成＞

- ・ 事業内容：①難病児の家族に関する取り組み、②難病児のきょうだい児に関する取り組み、③理解促進を目指す取り組み
- ・ ソフト事業



特別支援学校の特別おもしろ祭
Supported by 障害攻略隊

なにをやるの？

- 特別おもしろいスポーツ**
メディアで話題の「世界ゆるぎスポーツ協会」が企画協力！声で土鍋を振動させる「トントンボイス相撲」、座ったまま競争する「健志走」をはじめ、「心意がけを履きスポーツ」など、ユニバーサルなスポーツが勢をいします！これからは、だれもがアスリートになれる時代！
- 特別おもしろい音楽**
こちらは「世界ゆるぎミュージック協会」が企画協力！スーパーボールを転がし音を導く楽器、ボーズをとると鳴るギター、鼻歌を歌うと言がなるサクソ、さらには拍手することでドラム演奏！？音楽が苦手でも、あなたの楽器が響くかもしれない体験を是非試してみてください！
- 特別おもしろい食**
障者の有難みから、だれもが楽しめる「ユニバーサルナック」が登場！本格的な味い追求した「にぎらな寿司」、飲むように食べる「Drinkable Meal」など、難病児のユニバーサルフードを二重発表！(会場から入場可)です。
- 特別おもしろい祭り物**
あると電車音が、車庫になったような気分を味わえる「Wheelchair Train (車椅子電車)」をはじめ、玉しろい乗り物(音)！自動運転の時代が近づいているからこそ、運転するよこげをみんなで作ります。

いつ・どこでやるの？

日時 2019年8月18日(日)
開場 12:00
開演 13:00-16:00

場所 東京都立府中けやきの森学園
http://www.fushiko.metro.tokyo.jp/ota/br/
京王線 府中緑地駅から徒歩15分
有明線 多摩川駅から徒歩17分

参加費 特別支援学校/学級に通っている幼児・児童・生徒、その家族 特別支援学校/学級で働いている教職員 これら特別支援学校/学級に通う未就学児、その家族

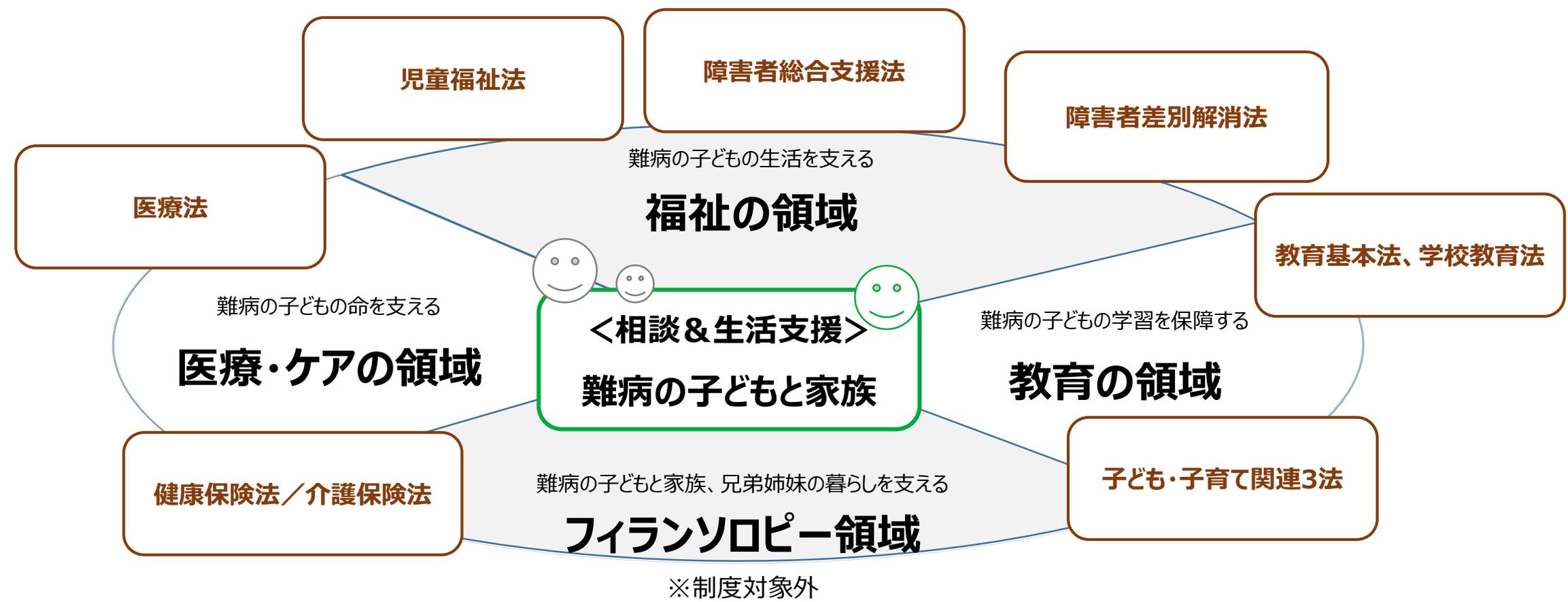
このページの予約受付中 http://toinotokusaipattiz.com/
参加費300名(ヘルパースタッフは除く)・参加費無料

主催 ▶▶▶ 問い合わせ ▶▶▶
「特別支援学校を特別おもしろい学校に」委員会 事務局長 東京都立小平特別支援学校武蔵野分教室 主幹教諭 田添 敦孝
メール: Nobuyuki_Tanoe@member.metro.tokyo.jp
電話/FAX: 042-344-4537

協賛: Social WEnnovators、ティ・エス テック株式会社



事業計画作成のポイント



「医療依存度の高い子どもと家族を地域で支える取り組み」
事業計画作成のポイント



- 医療依存度の高い子どもって？
- 難病の子どもって？
- 地域で支えるって？

障害者の就労支援

障害者の就労支援

○求める事業

- ・ 障害者就労の既成概念に囚われず、職域の拡大など、新たな可能性の拡張が期待できる事業
- ・ 福祉就労から一般就労への移行が効果的に行われる事業
- ・ 重篤な障害者の就労支援にあって十分な対価を発生させる事業
- ・ 医療から就労への移行を着実に促進させる事業

○採択の可能性が高くなる事業

- ・ 統計や先行研究、調査等の客観的根拠に基づいて事業背景が整理されている事業
- ・ 課題設定が明確で、その手段となる事業内容との整合性が確保されている事業
- ・ 事業実施による効果が、具体的に設定されており事業実施後に検証可能である事業
- ・ 事業の実現性に根拠が認められる事業

○採択が難しい事業

- ・ 目的が既存の機器類の買い替えに留まる事業
- ・ モデル事例として普及が期待できない事業

障害者の芸術活動

障害者の芸術活動

○求める事業

- ・障害者のアートに関心がない人も巻き込んでいく事業
- ・新たな作品・作家を発掘する事業
- ・障害者のアートに関する情報を広く発信していく事業

○採択の可能性が高くなる事業

- ・当事者が主体的に参画する機会を提供している事業
- ・障害のある作家の作品が適切に評価され、価値を認められる環境整備につながることを期待される事業
- ・インフルエンサーの来場が見込まれる事業
- ・非独占的である事業
- ・作家・来場者、双方向の学びを目指す事業

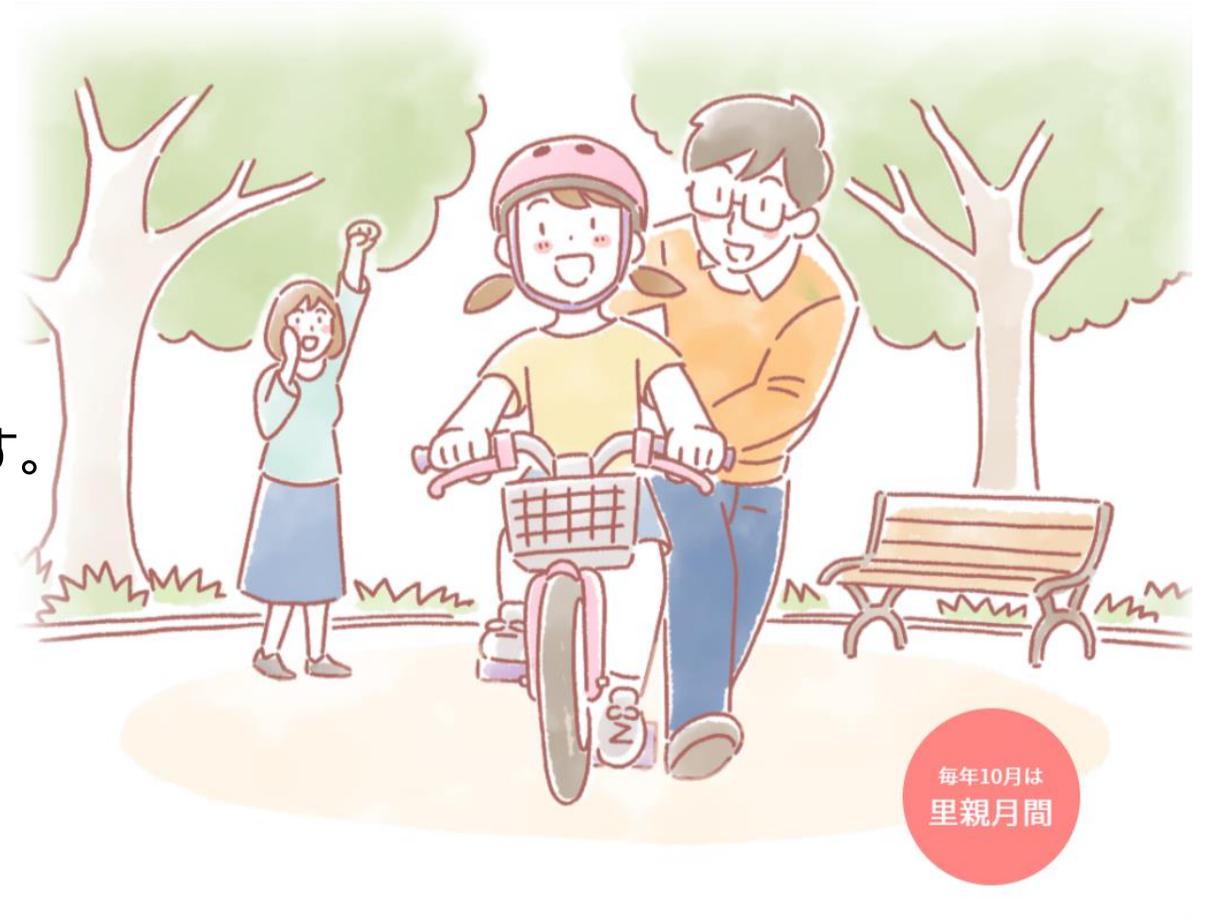
○採択が難しい事業

- ・単純な継続事業である（申請以前から継続実施している展覧会の開催等）
- ・新型コロナの影響を全く考慮していない事業
- ・特定の障害がある作家のみの作品を対象する事業
- ・開催形式にアクセシビリティへの配慮と積極性が認められない事業

虐待予防・親子支援

日本財団子どもたちに家庭をプロジェクト (旧ハッピーゆりかごプロジェクト)

子どもが温かい家庭で育つことができるよう、
虐待予防・親子支援に関わる事業へ助成を行っています。



毎年10月は
里親月間

課題感と主な想定事業について

- **<性教育の充実>**
 - **性についての知識をつけることで、思いがけない妊娠を防ぐ**
 - 例えば、中高生や保護者を対象としたセミナー等
- **<思いがけない妊娠をした女性への支援>**
 - **妊娠期から特定妊婦とつながることにより、女性に寄り添い、生まれてくる子どもの安心安全な養育を保障**
 - 例えば、妊娠SOS相談窓口の運営
- **<産前産後のケア・サポート>**
 - **産前産後の心身ともに不安定な時期を支援することで、産後うつや虐待を予防する**
 - 例えば、産前産後の訪問事業、ネウボウ的取り組み
- **<養育支援>**
 - **正しいしつけの方法、子どもとのかかわり方について知ることでより良い親子関係を構築する**
 - 例えば、ペアレントトレーニング
- **<子どもの権利保障>**
 - **子どもは権利の主体であることを社会全体が理解する**
 - 例えば、子ども向け／大人向けの子どもの権利に関する普及啓発

社会的養護

子どもたちに家庭をプロジェクト（旧ハッピーゆりかごプロジェクト）

家庭養護の促進を重点テーマとして、

- ・特別養子縁組の推進
- ・里親制度の推進

に関わる助成事業／財団独自の事業を、展開しています。

※ ウェブサイト、整備中です。
現在の取組みは「ハッピーゆりかごプロジェクト」ウェブサイトへ。
<https://happy-yurikago.net/>

日本財団子どもたちに家庭をプロジェクト

日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION



いっしょに生きてくれるひとが、いる。
たいせつな家庭が、ここにある。

社会的養護出身の子どもたちへの
進学支援を行っています。



近年助成を行った主な事業と想定事業

＜特別養子縁組の推進＞

近年助成を行った主な事業の例

- 里親子及び養子縁組親子の支援
- 養子縁組当事者向け相談援助窓口の立ち上げ
- 社会福祉を基盤とする養子縁組相談援助
- 虐待死予防のための赤ちゃん縁組講習会の開催
- 養子縁組家庭向け研修・交流
- 養子縁組に関する学習会の開催と相談支援
- 特別養子縁組の普及啓発
- 養子縁組前・後の支援



近年助成を行った主な事業と、想定事業

＜里親制度の推進＞

近年助成を行った主な事業の例

- 里親支援に関わる人材育成
- フォスタリングチェンジプログラムのファシリテーター養成、全国展開
- フォスタリング機関のモデル事業、立ち上げ支援（時期限定での募集・終了）
- フォスタリング機関／里親支援機関が行う、里親リクルートのための周知・啓発
 - ☆ より効果的な周知・啓発方法の開発。活用方法が明確であること。
効果の検証ができるとよい。作って終わりにならない。



近年助成を行った主な事業

<社会的養護の子ども、経験者への支援>

近年助成を行った主な事業の例

- 児童養護施設、里親家庭等で過ごす子どもたちへの支援

社会人として自立していくためのマナー講習会
自然の中で施設外の子どもたちとの交流体験
児童養護施設出身のロールモデルによる支援、就労支援

- 社会的養護経験者への支援

当事者団体のネットワーク拡充
児童養護施設出身学生向けシェアハウスの普及



聴覚障害

日本財団の「聴覚障害者支援」の考え方

現在日本では6万人が「手話」を「第一言語」として使用しています。
しかし「手話」は「言語」として十分に認知されていません。

「手話は言語」

日本財団は、「手話」が「言語」として音声言語と同等に扱われる社会の実現を目指します。

日本財団は、ろう者が「手話」で教育を受け、「手話」で生活できる環境を整備することにより、ろう者ひとりひとりがそれぞれに持つ能力を発揮できる社会の実現を目指して支援を行っています。

日本財団の「聴覚障害者支援」の取り組み

言語としての手話の認知

学術的な認知

法的な認知

「手話言語法」制定に向けたロビー活動やフォーラム開催

支援先：当事者団体等

「手話言語学」研究の推進
手話言語学者の育成

支援先：大学・研究機関等

手話による教育の充実

ろう学校での手話教育の提言
高等教育機関での特別支援教育（聴覚専門）課程の充実

支援先：大学・NPO等

手話の教育

生活の質の向上

相談支援ができる当事者や手話ができるソーシャルワーカーの育成・派遣
舞台手話通訳の普及
手話通訳指導者の育成

支援先：大学・NPO等

生活の支援

当事者の職種の拡大

大学内でのキャリアサポートセンターの立ち上げ

ろう当事者に適した職種の拡大（ろう通訳者等）

ろう者の留学支援

支援先：大学・NPO等

職業の支援

一般への手話の普及

ろう講師から動画で日本手話を学ぶアプリの開発

手話パフォーマンス甲子園・手話劇祭等の開催

支援先：NPO等

手話の活動

申請手続き・申請受付期間

2020年度募集よりGoogleフォームを使用した申請手続きに変更となりました。

今一度ご確認をお願いします。

STEP1. Googleアカウントの取得

STEP2. 申請の準備

Googleフォームを使用した申請手続きでは、フォーム入力中に一時保存ができませんのでご注意ください。

質問事項は全64個です。入力前に下書き資料の作成を推奨いたします。

STEP3. 申請 ※インターネットによる申請のみ

2020年10月1日（木） 11:00～2020年10月30日（金） 17:00まで

（注意：10月30日（金） 17:00までに送信ボタンを押し、「申請受付メール」を受け取った事業が対象となります。）

関連リンク：[2021年度 助成金申請ガイド（通常募集）](#)

[「申請準備ワークシート」の記入例（PDF/752KB）](#) 申請補助資料に含まれる「申請準備ワークシート」の記入例です。

[申請補助資料のダウンロード（Excel/184KB）](#) 申請に必要な資料をダウンロードできます。